

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【音】とは何か身近に聞こえる音から、奏でる音までさまざまな音を探究する

<テーマの設定理由>

「音」とは園児達にとって、日常的に聞こえてくる身近なものであり、日頃から園活動でも毎日、歌を唄い、先生のピアノのリズムに合わせて身体を揺らし手拍子をしたり、音に興味を持ち楽しんでいる姿が見られることから、様々な音を聞いたり、奏でることで「音」の発見や特性について園児達の興味関心をさらに深める。

2. 活動スケジュール

実践月	実践日	テーマ	対象学年	内容
6月	23日	音とは何?	年長	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な物には音があることに気づく ・身近なもの（段ボールや風船）を使って音を出してみる ・音の楽しさを味わう
6月	23日	太鼓に触れよう	年長	<ul style="list-style-type: none"> ・小太鼓、中太鼓、大太鼓、和太鼓の音を聞いてみよう ・叩いてみよう ・音の違いや大きさの違いに気づいてみよう
6月	23日	和太鼓演奏	年長	<ul style="list-style-type: none"> ・和太鼓とはどのような物なのかを知る ・和太鼓はどんな音なのか聞いてみる ・実際に触れて和太鼓の響きを体感する
9月	30日	全身を使って音を楽しむ	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器以外の物でも音があることに気づく ・色々な物を使って音を出し、音の楽しさを味わう ・パタパタプールの中にスズランテープ、新聞紙を入れて子どもが入り、どんな音が出るのか試す
10月	16日 (2歳児・年少) 21日 (年中・年長)	楽器に触れよう	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な楽器に触れ、音の楽しさを味わう ・友だちと一緒にリズムをとり楽しむ ・音の違いを知る
11月	4日 (製作) 10日 (展示会)	楽器の製作 (どんぐりマラカス)	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足で拾ったどんぐりを使いマラカスを作る ・友だちと共有しながら楽しむ ・作ったマラカスを曲に合わせて鳴らしてみよう ・作った楽器を製作展議会で保護者にみてもらう
2月	5日	音の出るものを体験しよう	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・音階のある楽器やパットを使いピアノの音に合わせてリズム遊び ・和楽器に触れ音を奏でてみる
通年		音遊び	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自由時間や室内遊びで行う ・自らリズムを考えて友だちと一緒に音遊びを楽しむ ・音楽に合わせて音を出し、音楽と音を味わう

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動のために準備した材料や道具

【身体を使って音を楽しむ】

- * パタパタプール、新聞紙、すずらんテープ

【和楽器】

- * 和太鼓、琴

【楽器】

- * 大太鼓、中太鼓、小太鼓、ティンパニー、シンバル、すず、タンバリン、トライアングル、ハンドベル、木琴、鉄琴、マラカスカスタネット
- * グロッケン、クラベス、ウッドブロック、カバサ、ギロ、ミュージックポンプー、ミュージックパット、トーンチャイム

【手作りマラカス】

- * どんぐり(遠足で園児が自ら拾った)、空ペットボトル、すずらんテープ、紙テープ、ビニールテープ、セロハンテープ、折り紙

環境の設定

- * 園児が伸び伸び探究しやすいように、自由にたくさん触れられるよう楽器を園児机の上に用意した。
- * 楽器の特徴や素材、手触りを大切にするために道具をシンプルにし、学年によって楽器の種類を変えて活動に取り組んだ。
- * 楽器を手に持ち「音」を奏でるだけでなく、教諭のピアノのリズムに合わせて奏でることや、手持ちの楽器では、曲に合わせて踊りながら、合奏を実践した。
- * 園児たちは初めて見る楽器や初めて触れる楽器に興味を示し活動に取り組んでいた。
- * 活動中の園児たちは、最初に触れた感想や気持ちを保育者に伝え、楽器遊びを展開していた。
- * マラカス作りでは、園児たちの個性や考えを尊重し、どんぐりの個数や飾り付けなどを決めず、自由に実践できるように活動した。また作品の完成を想像し製作していく園児や、思いのままに作業をしている園児など、個性あふれる作品ができた。
- * 作ったマラカスを作品展示会で保護者の方に観覧してもらい園児・保護者と一緒に共有した。



4. 振り返り

- * 聞こえてくる「音」や奏でる「音」など生活していく中で、音が身近な存在であることに気づき、材料を使用していく中で、表現の自由を探究し園児自身が「音」の違いに気づき、友だち同士で会話をすることや発表することで新たな発見ができた。
- * 園児が「音」に関して気づいた言葉をひろい、「なんでだろうね。」「どうしてかな?」と問いかけ、会話をしていくにつれ園児から様々な言葉を聞くことができた。(例) 新聞紙はカサカサ・手作りマラカスはシャカシャカ・太鼓はドンドン など。
- * さまざまな楽器に触れて奏でることを楽しみ、楽器の特徴を園児たち自身が気づき、楽器を探究する姿を見ることができた。
- * 一つの楽器でも叩き方や鳴らし方が園児によってさまざまで子ども同士「音」のとらえ方の違いに気づき学ぶことができた。
- * 活動を実践していくことで、リズムに合わせて音を鳴らすことがスムーズになり園児の表現力が豊かになっていくことに気づくことができた。
- * 園児の発想を教諭も共感しながら進めていくことで、より音遊びのアイデアを生み出し楽しむ姿を見ることができた。